



上尾の児

埼玉県立上尾特別支援学校

令和元年9月27日

「未来のために今を育てる」

校長 井上 隆

4月からの6か月間、保護者の皆様をはじめ、多くの方々に御支援をいただき、無事前期卒業式を迎えることができました。本当にありがとうございました。この間、高等部3年生の修学旅行や運動会をはじめとし、全校並びに学部ごとに色々な行事に取り組みました。児童生徒のみんなにとって、とても有意義な期間であったのではないかと思います。また、日々の学習でも多くのことを学び、また、体験できたのではないかと思います。

本校は、小学部から高等部まで児童生徒が在籍しています。年齢も経験も異なる子供たちにとっては、学びの内容も異なってきます。しかし、将来成人することはどの子にとっても共通に通る道であると思います。高等部を卒業し、成人になって、その先どのような生活をおくっていくのか、気になることと思います。また、この子には将来このように過ごしてほしいという願いもあるのではないのでしょうか。

本校は、キャリア教育の視点に立った教育を実践しています。キャリア教育は、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」（中央教育審議会答申）とされています。また、キャリア発達は、「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」（中央教育審議会答申）と示されています。このことから、キャリア教育を進めるためには、子供の「社会的・職業的自立」と「自分らしい生き方」を捉えることが必要であると考えています。

このことから、子供たちの将来を考えることが、子供たちにとって大切なことであると思います。この子にとって、どのようなことができていると自立につながるのか。どのようなことができれば自分らしい生活がおくれるのか。このことを将来の姿として想像してみると、大人になる間に何を身に付けていったらよいのかが見えてくると思います。そして、学校生活の12年間で、身の回りのことから人とのかかわりへ、そして、働く力というように、各学部段階での学びを整理し、積み上げていくことにつながっていくと思います。そのためには、子供それぞれに応じた必要と思われる力の何をいつまでにできるようにしていくのか、どのように積み上げていくのか、その時々に応じて対応していくのかを考えることも必要になると思います。

その時々を今をどう育てるのが子供の未来にとって重要であり、「自分らしい生き方」につながると思います。

